

PHIJ (Perio Health Institute Japan) DENTSPLY Implants 特別講演会
「科学的根拠に基づく歯周専門医のディジションメイキングとは」

2014年10月5日(日)開催

職種: 医師

PHIJではベーシックコース@福岡、アドバンスコース@ヒューストン、カダバーコース@オマハを主催しています。今後、開催日程の連絡を希望しますか?

・はい

・いいえ

各演題で特に印象に残った点や感想などをお書きください。

Dr. 宮本『インプラント前歯部治療における類側歯槽骨変化を考慮した Decision Making/長期予後の為の Maintenance の意義』

他科 Dr. DH の連絡のたす、治療の戦略の選択の多岐に
長石に benefit をもたらすことを実感しました。
expectation と reality のバランスの point でした。

Dr. McGuire『治療のディジションメイキングにおけるリスク評価と予後の与える影響 Decision Making』

・ fibroblast が歯肉病の改修に介入した時に多岐に及ぶこと、
驚きです。リスク評価と予後の予知の重要性は改めて
胸の溝に。何れも合わせて明確に示されました。

Dr. 築山『リスクアセスメントに基づく的確なインプラント治療計画』

・ 精密なリスクアセスメントに基づいた計画の重要性を改めて
実感しました。その為には、特に ZOD の理解が
大切だと。

Dr. Scheyer『患者紹介制度の歯周専門診療所から創造される最適な治療結果:患者の為のコラボレーションケアとは』

・ Biosurgery の有用性と得性は、大変素晴らしい。商業ベースに乗せられ、
インプラントの様に、医療界で普遍的なものにするには、ハードルが高いことを
知りました。

全体を通しての感想、要望などをお書きください。

他の X-線 の 2D 画像とは違い、ラフエルのみの内容でなく、医学的
内容が豊富で、PHIJ の重要性を実感しました。

ご協力ありがとうございました。

PHIJ (Perio Health Institute Japan) DENTSPLY Implants 特別講演会
「科学的根拠に基づく歯周専門医のディジションメイキングとは」

2014年10月5日(日)開催

職種: 歯科医師

PHIJではベーシックコース@福岡、アドバンスコース@ヒューストン、カダバーコース@オマハを主催しています。今後、開催日程の連絡を希望しますか?

・はい

)・いいえ

各演題で特に印象に残った点や感想などをお書きください。

Dr. 宮本『インプラント前歯部治療における頰側歯槽骨変化を考慮した Decision Making/長期予後の為の Maintenance の意義』

- ・ Immediate loading では Risk Factor により 生存率に変化ないが軟組織の予後は変化する。
- ・ Extrusion では 骨側寄りに 突出させる。
- ・ シリコニアバットメントと タタン製の もじット を 組み合わせると 細菌の付着と増加させるよりダメージを少なくできる。
- ・ 期待値のコントロールを 良好に行うために 患者の動因を 明確にし 上で 誘因の提示を行う。

Dr. McGuire『治療のディジションメイキングにおけるリスク評価と予後の与える影響 Decision Making』

- ・ Risk = 疾患の重症度は 関係がない。 万が一 同じ疾患 重症度でも 個人毎に 治療や モニタリングのレベルは 違う。
- ・ 歯周病の原因のうち 8割は 宿主要因である。
- ・ Type II 糖尿病による 歯周病の悪化は 良好なメンテナンスにより 防ぐことができる。
- ・ 分子栄養学の見地から のアプローチも 必要になる。

Dr. 築山『リスクアセスメントに基づく的確なインプラント治療計画』

審美領域 インプラント 治療における 10α キー フォクター

↓
実際の治療に 落とし込んで 具体的に説明して 作す 点。

Dr. Scheyer『患者紹介制度の歯周専門診療所から創造される最適な治療結果:患者の為のコラボレーションケアとは』

- ・ 自身の 病院や 医院の 価値を 最大化するための 具体的な 思考プロセスや 目標設定 を 説明
- ・ 地域啓蒙 及び 連携 医院の 情報共有 は 治療と円滑に 進めるための コミュニケーションの 質を高める。
- ・ Biosurgery の 紹介

全体を通しての感想、要望などをお書きください。

ご関係の皆様のご尽力があった素晴らしい講演会でした。

おひじの先生のお話でさえ 滅多に 聴くことができないのに 4名も一同に来ていただけるのは 夢のようです。
ありがとうございます

ご協力ありがとうございました。

PHIJ (Perio Health Institute Japan) DENTSPLY Implants 特別講演会
「科学的根拠に基づく歯周専門医のディジションメイキングとは」

2014年10月5日(日)開催

病院名:	氏名:	職種:
PHIJではベーシックコース@福岡、アドバンスコース@ヒューストン、カダバーコース@オマハを主催しています。今後、開催日程の連絡を希望しますか?		
・はい (メールアドレス: <u>nlisan03@gmail.com</u>)		・いいえ

各演題で特に印象に残った点や感想などをお書きください。

Dr. 宮本『インプラント前歯部治療における類側歯槽骨変化を考慮した Decision Making/長期予後の為の Maintenance の意義』
Expectation - Reality = Conflict かなり!とさせられました。患者の期待度の把握も足りなから、また、自分の提供する Reality をもっと引きあげたいと Conflict の種を減らすことはできない、と ~~考え~~ 考えさせられました。

Dr. McGuire『治療のディジションメイキングにおけるリスク評価と予後の与える影響 Decision Making』
何故リスクアセスメントか「我々は診断は得意だが予後と考えるのことに得意ではない」私の Reality は 診断は得意ではないか、予後と予測することはもっと難しい。

Dr. 築山『リスクアセスメントに基づく的確なインプラント治療計画』
専門医だからといって「飛ぶ道具」を手にしている訳ではなく、エビデンスに基づいて step by step で治療を進めている、というのが印象的でした。

Dr. Scheyer『患者紹介制度の歯周専門診療所から創造される最適な治療結果:患者の為の Collaboration ケアとは』
✓ ~~重要~~ 確実に良好な予後を得るためには、専門医、そして自院スタッフとのコラボレートが欠かせない。まず自院のスタッフとの関係を見直しなければいけません。

全体を通しての感想、要望などをお書きください。

全体的に様々な面において自分の未熟さを改めて思い知らされた2日間でした。良い刺激になりました。今後更なる向上をお願ひ致します。

ご協力ありがとうございました。

PHIJ (Perio Health Institute Japan) DENTSPLY Implants 特別講演会
 「科学的根拠に基づく歯周専門医のディシジョンメイキングとは」
 2014年10月5日(日)開催

	職種: <u>歯科医師</u>
PHIJではベーシックコース@福岡、アドバンスコース@ヒューストン、カダバークコース@オマハを主催しています。今後、開催日程の連絡を希望しますか？	
はい ()・いいえ

各演題で特に印象に残った点や感想などをお書きください。

Dr. 宮本『インプラント前歯部治療における頬側歯槽骨変化を考慮した Decision Making/長期予後の為の Maintenance の意義』

クリニカルカンターとサブクリニカルカンターの関連がよくわかりました。
 矯正時でも美症のコントロールが基本にあることがわかりました。
 インプラントの歯肉のマネジメントの重要性がわかりました。
 インプラントのメンテナンスの拡張的ケアを考慮する機会となりました。

Dr. McGuire『治療のディシジョンメイキングにおけるリスク評価と予後の与える影響 Decision Making』

歯周病を進行させても因子とそのコントロール、リスクとの関連がわかりました。リスクの整理になりました。リスク評価がより現実の診療ができるようになり歯周病の進行のコントロールができるようになる様、個人向けの診断プログラムの確立を考えています。

Dr. 築山『リスクアセスメントに基づく的確なインプラント治療計画』

エビデンスに基づいた、スタッフごとの治療計画が最終的な治療の成功に結びつくことがわかりました。スタッフごとの評価と計画を重視したいと思っています。

Dr. Scheyer『患者紹介制度の歯周専門診療所から創造される最適な治療結果:患者の為のコラボレーションケアとは』

スタッフとの連携、院外の関係スタッフとのコラボレーションで、自分の医院だけのケアではなく、全スタッフのケアより大きな恩恵をもつ医院にしたいと思っています。

全体を通しての感想、要望などをお書きください。

ご協力ありがとうございました。

PHIJ (Perio Health Institute Japan) DENTSPLY Implants 特別講演会
「科学的根拠に基づく歯周専門医のディシジョンメイキングとは」
2014年10月5日(日)開催

	職種：歯科医師
PHIJではベーシックコース@福岡、アドバンスコース@ヒューストン、カダバーコース@オマハを主催しています。今後、開催日程の連絡を希望しますか？	
・はい(メールアドレス：)・いいえ	

各演題で特に印象に残った点や感想などをお書きください。

Dr. 宮本『インプラント前歯部治療における頬側歯槽骨変化を考慮した Decision Making/長期予後の為の Maintenance の意義』

ope だけでなく、エクストルーージョンにより骨は回復するのではないかという点も改めて感じました。

患者の期待度も治療に深く関わるの点も再認識しました。

Dr. McGuire『治療のディシジョンメイキングにおけるリスク評価と予後の与える影響 Decision Making』

オミにいまトピックとしてわかっている内容。(DNA、全身疾患...etc)

ペリオのリスクファクターについて理解が深まりました。

Dr. 築山『リスクアセスメントに基づく的確なインプラント治療計画』

すべて分けやすいですね。"基本に忠実に" 自分もこういったケースを
経験してみたいですね。

Dr. Scheyer『患者紹介制度の歯周専門診療所から創造される最適な治療結果:患者の為のコラボレーションケアとは』

数々の症例において 的確な治療へのコラボレーションが大事。ペリオ補綴も
重要であり、歯列不正を認めることが前提にあることと再認識しました。

全体を通しての感想、要望などをお書きください。

--

ご協力ありがとうございました。

PHIJ (Perio Health Institute Japan) DENTSPLY Implants 特別講演会
 「科学的根拠に基づく歯周専門医のディシジョンメイキングとは」
 2014年10月5日(日)開催

	職種: GP
PHIJではベーシックコース@福岡、アドバンスコース@ヒューストン、カダバーコース@オマハを主催しています。今後、開催日程の連絡を希望しますか?	
はい	いいえ

各演題で特に印象に残った点や感想などをお書きください。

Dr. 宮本『インプラント前歯部治療における頰側歯槽骨変化を考慮した Decision Making/長期予後の為の Maintenance の意義』
 難易度の高いインプラント治療のテクニックを今から取得するつもりは無いのですが、GPとして知っておかなければ存続の知識、技術はありますか、紹介のタイミングや今では無い場合、先の将来のインプラントの場合に今やっておくべき対策やコンサルテーション等を知りたいです。

Dr. McGuire『治療のディシジョンメイキングにおけるリスク評価と予後の与える影響 Decision Making』
 遺伝子検査は日本でも受けられるのか? ね。またの存続は、歯周病の既往は無いと考えるもよいのか、
 IL-1陽性はどの様に知ることが出来るのか? ↓ 線維芽細胞が新しく存在するか?
 今現在のリスク評価としての CHIS は、どの程度有効なのか、この先別のリスク評価システムが出来るのか?

Dr. 築山『リスクアセスメントに基づく的確なインプラント治療計画』
 診断用ワックスUPや、プロセシヨナル、等の実習は出来るのでしょうか。診断の順序、見直しも知りたいです。

Dr. Scheyer『患者紹介制度の歯周専門診療所から創造される最適な治療結果:患者の為の Collaboration ケアとは』
 Core Values についてのミーティング ~~を~~ 行うために、もっと具体的にスタッフにどの様に説明したほうが良いかわかりますか?

全体を通しての感想、要望などをお書きください。

かなり高度な内容であたので、頭がハニック状態です。どれだけの方が残り、明日からの臨床に役立つか不明です。コースも通って確認したいと思っております。

ご協力ありがとうございました。

PHIJ (Perio Health Institute Japan) DENTSPLY Implants 特別講演会
「科学的根拠に基づく歯周専門医のディジションメイキングとは」

2014年10月5日(日)開催

職種：歯科医師

PHIJではベーシックコース@福岡、アドバンスコース@ヒューストン、カダバーコース@オマハを主催しています。今後、開催日程の連絡を希望しますか？

・はい(メールアドレス:)・いいえ

各演題で特に印象に残った点や感想などをお書きください。

Dr. 宮本『インプラント前歯部治療における頰側歯槽骨変化を考慮した Decision Making/長期予後の為の Maintenance の意義』

この演題は、歯周外科(インプラント)により、いかにインプラントしていくかを主体として行われた。しかし、インプラント治療計画であるにもかかわらず、患者さんへの負担は軽く、予後とリスクのバランスもあること、その負担の減少、求めらなくても済むことになりました。Dr. DHとのダイアログにより、蓄積的なデータに基づく結果に大きな差が出てくることになりました。

Dr. McGuire『治療のディジションメイキングにおけるリスク評価と予後の与える影響 Decision Making』

マリアイブ先生のおっしゃる個別化、予測性、予防性、発症型(Atyp)は非常に勉強になりました。ここからの10代~40代の人のリスク判定がその後の人生を決定づけるというほど、リスクアセスメントの重要性を気づかされました。口腔内中状態だけでなく、年齢、性別、既往症の因子が歯周病治療において非常に大事なことだと思いました。

Dr. 築山『リスクアセスメントに基づく的確なインプラント治療計画』

文献によって、エビデンスとともに的確に書かれておられることが基本であるという築山先生の一貫性ある講義がとてもすばらしかったです。11月のテーマ、論文を自分の目で検証し、実践していくことがスキルの自信につながる、確信が得られるということも学びました。

Dr. Scheyer『患者紹介制度の歯周専門診療所から創造される最適な治療結果:患者の為のコラボレーションケアとは』

1998年のデジタル革命により、インプラント治療は大きく変わったことがわかりました。CBCTと右歯根型の2つのデータで歯槽骨の量が可視化され、FDAの認可を受けたLigcellとFAGの導入はめさらにICCの量がわかること、患者さんへの理解促進となるがすばらしかったです。さらなるテクノロジーから、さらなる科学の進歩により、歯科の医療も大きく変化していくことが楽しみです。

全体を通しての感想、要望などをお書きください。

この論文による症例から、診療方針のあり方まで77分にもわたるお話しとても充実した講義でした。

ご協力ありがとうございました。

PHIJ (Perio Health Institute Japan) DENTSPLY Implants 特別講演会
「科学的根拠に基づく歯周専門医のディジションメイキングとは」

2014年10月5日(日)開催

	職種: Dr.
PHIJではベーシックコース@福岡、アドバンスコース@ヒューストン、カダバーコース@オマハを主催しています。今後、開催日程の連絡を希望しますか?	
・はい (メールアドレス: _____)	・いいえ _____

各演題で特に印象に残った点や感想などをお書きください。

Dr. 宮本『インプラント前歯部治療における頬側歯槽骨変化を考慮した Decision Making/長期予後の為の Maintenance の意義』

他院で行われた患者様のリハビリや状態改善を要求と現実との割合でその症例が、歯周病専門医のレベルを上げ、技術力とエビデンスにも基づく治療の可能性を改めて知る事ができた。

Dr. McGuire『治療のディジションメイキングにおけるリスク評価と予後の与える影響 Decision Making』

現在症状のない患者、発症した患者の将来的なリスクを考慮していくという点が自分のために全くなかったのが明日の治療がどうなるかと考えていたと思えた。

Dr. 築山『リスクアセスメントに基づく的確なインプラント治療計画』

実際にインプラントを行ってからは、技術と経験が低いDr. エビデンスの正しい治療を行うことで良好な結果は生じやすい。エビデンスに基づいて行うことが治療が行える。

Dr. Scheyer『患者紹介制度の歯周専門診療所から創造される最適な治療結果:患者のためのコラボレーションケアとは』

治療を行う前に、電話から来院時の笑顔で対応し、温かく迎える準備をする。

全体を通しての感想、要望などをお書きください。

治療内容はエビデンスに基づき、最高の治療を行う準備段階では、患者とのコミュニケーション、理解し、治療計画・リスク管理、そしてリスクの理念共有・働きかけ環境づくりなど世界基準の治療に近づけることが出来た。これからPHIJセミナーを通じてさらなるご協力ありがとうございました。

ご協力ありがとうございました。

PHIJ (Perio Health Institute Japan) DENTSPLY Implants 特別講演会
「科学的根拠に基づく歯周専門医のディシジョンメイキングとは」

2014年10月5日(日)開催

	職種: <i>Dr</i>
PHIJではベーシックコース@福岡、アドバンスコース@ヒューストン、カダバーコース@オマハを主催しています。今後、開催日程の連絡を希望しますか？	
・はい(メールアドレス: _____) ・いいえ	

各演題で特に印象に残った点や感想などをお書きください。

Dr. 宮本『インプラント前歯部治療における頬側歯槽骨変化を考慮した Decision Making/長期予後の為の Maintenance の意義』 <i>わかることと初めて、インプラントからの経験が。富山先生のスライドが 好きです。</i>
Dr. McGuire『治療のディシジョンメイキングにおけるリスク評価と予後の与える影響 Decision Making』 <i>歯槽骨とリスク、診断とリスク、これから一歩に100歩の差はここ。 リスクを減らすためには治療が過剰になり、アグリーになり しまう。志が100歩の差とあると良い。</i>
Dr. 築山『リスクアセスメントに基づく的確なインプラント治療計画』 <i>非常に勉強になりました。わかりやすい！特にキチンとした手順を 踏んで治療が可能なことはこの重要性と改めて感じました。</i>
Dr. Scheyer『患者紹介制度の歯周専門診療所から創造される最適な治療結果:患者の為の Collaboration ケアとは』 <i>BioSurgery について、治療のサークル、バリエーション 非常にわかりました。</i>

全体を通しての感想、要望などをお書きください。

--

ご協力ありがとうございました。

PHIJ (Perio Health Institute Japan) DENTSPLY Implants 特別講演会
 「科学的根拠に基づく歯周専門医のディシジョンメイキングとは」
 2014年10月5日(日)開催

	職種： <u>歯科医師</u>
PHIJではベーシックコース@福岡、アドバンスコース@ヒューストン、カダバーコース@オマハを主催しています。今後、開催日程の連絡を希望しますか？	
・はい (メールアドレス： _____)	・いいえ _____

各演題で特に印象に残った点や感想などをお書きください。

Dr. 宮本『インプラント前歯部治療における頬側歯槽骨変化を考慮した Decision Making/長期予後の為の Maintenance の意義』
分かりやすかったです。たいへん分かりやすくプレゼンでした。 矯正治療とコラボした治療計画は、治療の幅も広がり、自費でも受け入れられると思います。
Dr. McGuire『治療のディシジョンメイキングにおけるリスク評価と予後の与える影響 Decision Making』
歯周病のリスクファクター、進行因子等を整理することができました。 これから新たに出てくるエビデンスにも積極的に情報を得られるようにしたいと思います。
Dr. 築山『リスクアセスメントに基づく的確なインプラント治療計画』
すばらしいプレゼンでした。あとという間々時間でした。 エビデンスに基づき、1つ1つのポイントをしっかりと押さえる必要を改めて感じることができました。 サイエンス & アート が重要!!
Dr. Scheyer『患者紹介制度の歯周専門診療所から創造される最適な治療結果:患者の為のコラボレーションケアとは』
新しい材料での治療も含めプレゼンも見ることができ、大変勉強になりました。 軟組織の癒への忍耐... が感じます。

全体を通しての感想、要望などをお書きください。

・ PHIJのカダバーコースは、ベーシックコースを受講していないと参加が難しいでしょうか？ ・ エビデンスの重要性、予知性の高い治療計画化手技、DHとの協力、患者への説明... 1つ1つ改めてしっかりと学びたいと思いました。すばらしい講演会でした!!

ご協力ありがとうございました。

PHIJ (Perio Health Institute Japan) DENTSPLY Implants 特別講演会
 「科学的根拠に基づく歯周専門医のディシジョンメイキングとは」
 2014年10月5日(日)開催

医院名: XXXXXXXXXX	職種: 歯科医師
PHIJではベーシックコース@福岡、アドバンスコース@ヒューストン、カダバーコース@オマハを主催しています。今後、開催日程の連絡を希望しますか？	
・はい (メールアドレス: _____)	・いいえ

各演題で特に印象に残った点や感想などをお書きください。

Dr. 宮本『インプラント前歯部治療における頬側歯槽骨変化を考慮した Decision Making/長期予後の為の Maintenance の意義』

審美性を考慮した治療。審美性に関わる組織変化について
 papillaの再生方法について詳しく聞きたいです。

Dr. McGuire『治療のディシジョンメイキングにおけるリスク評価と予後の与える影響 Decision Making』

リスク評価によって治療方針が違ってくる。治療方針は目的によって決まると。とても大事なことを学ばせていただきました。

Dr. 築山『リスクアセスメントに基づく的確なインプラント治療計画』

EBMIについて今回の講演でありがとうございます。
 前歯部へのインプラントは難しいことだ。とても参考になりました。

Dr. Scheyer『患者紹介制度の歯周専門診療所から創造される最適な治療結果:患者の為の Collaboration ケアとは』

多数歯科医に対してガイドラインの重要性を学びました。
 パスライオンを導入しているのが、もしこの様な症例に当てはまる
 ことも利用したいです。

全体を通しての感想、要望などをお書きください。

今回の実習、とても参加したいです。
 2015年のPHIJの参加費にたいすか？

ご協力ありがとうございました。

PHIJ (Perio Health Institute Japan) DENTSPLY Implants 特別講演会
「科学的根拠に基づく歯周専門医のディジションメイキングとは」

2014年10月5日(日)開催

病院名：	氏名：	職種：
PHIJではベーシックコース@福岡、アドバンスコース@ヒューストン、カダバーコース@オマハを主催しています。今後、開催日程の連絡を希望しますか？		
・はい (メールアドレス：)・いいえ

各演題で特に印象に残った点や感想などをお書きください。

Dr. 宮本『インプラント前歯部治療における頬側歯槽骨変化を考慮した Decision Making/長期予後の為の Maintenance の意義』

先が僕達GPは、宮本先生の巧な専門医になるべくお世話にならなくてはいいように、アドバンスを守り患者さんに適確な治療が提供できるように、非、できる事、できない事は、より知る知識が必要だと思いました。

Dr. McGuire『治療のディジションメイキングにおけるリスク評価と予後の与える影響 Decision Making』

Dr.の結論を至親でリスク判断、そして2週間後の決定をいっている私の現状で何が科学的に判断できるものかという事は、患者さんの大切な事だと思いました。日本でも遺伝子検査などを知っています。

Dr. 築山『リスクアセスメントに基づく的確なインプラント治療計画』

ゆむたにかなりお世話でした。ほんのお世話です。

Dr. Scheyer『患者紹介制度の歯周専門診療所から創造される最適な治療結果:患者の為の Collaboration ケアとは』

医療者としての心を学ば、日本でも米でも大切な事は同じという事を知ることがうれしかったです。

全体を通しての感想、要望などをお書きください。

--

ご協力ありがとうございました。

PHIJ (Perio Health Institute Japan) DENTSPLY Implants 特別講演会
「科学的根拠に基づく歯周専門医のディシジョンメイキングとは」

2014年10月5日(日)開催

職種：歯科医師

PHIJではベーシックコース@福岡、アドバンスコース@ヒューストン、カダバーコース@オマハを主催しています。今後、開催日程の連絡を希望しますか？

・(はい) (メールアドレス：) ・いいえ

各演題で特に印象に残った点や感想などをお書きください。

Dr. 宮本『インプラント前歯部治療における頬側歯槽骨変化を考慮した Decision Making/長期予後の為の Maintenance の意義』

前歯部インプラント審美治療を行う上での、アディショナルシーエルの活用、欠陥処置の活用方法の治療方法が参考になった。エビデンスに基づいた治療がよかったです。理解がより深まりました。

Dr. McGuire『治療のディシジョンメイキングにおけるリスク評価と予後の与える影響 Decision Making』

~~リスク~~ リスク評価の方法の理解がよかったです。明日からの診療にぜひ応用したいと思う。新しいリスクファクターの考え方が新鮮だった。

Dr. 築山『リスクアセスメントに基づく的確なインプラント治療計画』

エビデンスに基づいたおぼろしい知識に感動しました。アメリカの歯科教育のおもしろさを実感した。診断用 wax up の手順の説明が参考になった。

Dr. Scheyer『患者紹介制度の歯周専門診療所から創造される最適な治療結果：患者の為のコラボレーションケアとは』

バスタージェリーが興味深かった。この講演会では聞くことができない。マネージメント、4-6医療の構築方法の説明が参考になった。

全体を通しての感想、要望などをお書きください。

大変有意義な一日でした。(大変リスナブルな料金で)

ご協力ありがとうございました。

PHIJ (Perio Health Institute Japan) DENTSPLY Implants 特別講演会
「科学的根拠に基づく歯周専門医のディシジョンメイキングとは」

2014年10月5日(日)開催

職種: 歯科医師

PHIJではベーシックコース@福岡、アドバンスコース@ヒューストン、カダバーコース@オマハを主催しています。今後、開催日程の連絡を希望しますか？

・はい (メールアドレス: _____) ・いいえ

各演題で特に印象に残った点や感想などをお書きください。

Dr. 宮本『インプラント前歯部治療における頰側歯槽骨変化を考慮した Decision Making/長期予後の為の Maintenance の意義』

前歯部におけるインプラント治療は、審美的にも質の高い治療が求められるものであり、宮本先生の症例の提示には、~~予~~今後の診療に与える有意義なものとした。

Dr. McGuire『治療のディシジョンメイキングにおけるリスク評価と予後の与える影響 Decision Making』

診断と予後の違いがよくわかりました。標準化した患者の利益を最大限確保するためには、予後を正確に見出し、過不足のない現在の治療を実施可能な重要なポイントの理解を深めました。

Dr. 築山『リスクアセスメントに基づく的確なインプラント治療計画』

エビデンスに基づき、正しくリスクを評価した上で的確な治療計画を立てることが、いかに患者利益に与えるのか？
治療計画が適切でない場合は患者の不利益を被るのか？肝に銘じておきたい。

Dr. Scheyer『患者紹介制度の歯周専門診療所から創造される最適な治療結果:患者の為のコラボレーションケアとは』

院内内外のメンバーと、いかに協力し合い、理解しあう。
患者にとり、最適な治療を実践し、結果を導くことのできるのか？
非常に重要なテーマを定感として、明日からの診療に役立てよう。

全体を通しての感想、要望などをお書きください。

世界的基準に基づき、科学的根拠をもとに、日々の診療に取り組むことの大切さを改めて心に刻みました。

ご協力ありがとうございました。